

＜残暑で失った潤い不足、活力不足に＞+生命力！アップ！

亀と鹿のパワーがおすすめ！

☆乾燥や潤い不足が気になる方に ☆忙しさに体がついていかない方に

☆活力を保ちたい方に



亀の甲羅と鹿の角を抽出した膠(ニカワ、ぷるんぷるんのゼラチン質)

生命の源となる腎精の減少は30歳を過ぎると始まります。生殖機能の減退、視力の低下、全身のだるさ、冷えなどの老化現象、つまり腎が衰えた(虚の状態) = 「腎虚」です。

更年期は40代～50代位の約10年間(個人差で早い遅いがあります)

それ以後、のぼせやほてりは自律神経のバランスとも関係します。

現代人は年齢が若くても身体的に老化状態の人は相当いるのではと言われています。原因は食生活の偏り、ストレス、疲労などです。

老化現象の腎虚にはのぼせる「腎陰虚」と冷える「腎陽虚」があります。



○腎陰虚とは…体内の水分(津液)や血が不足した状態の事です。

のぼせ等の熱症状、口やのどの乾燥感、皮膚の乾燥などの症状が現れます。

○腎陽虚とは…活動のエネルギーが不足した状態で冷え、むくみ、

精力減退など(インポテンツ、不妊など)

このような二つの腎の衰え、老化現象のどちらにも対応できるのが陰陽のパワーを持つ亀鹿二仙膠です。

この漢方には他に人参(気力を補い、疲労回復、体力増進、体の渴きを癒す)と枸杞子「肝腎を補い腎を潤す、肺を潤す、目を明らかにする」と記され(体を潤し、かすみ目などに用いられる)(肝腎を陰陽偏りなく補う)このような4つの働きで肝腎を補うので使い勝手のよい漢方ですね！

最近の店頭症例では…

- ・足の浮腫みには靈鹿参(鹿茸)が水を出す作用がある。
- ・亀鹿靈仙廣+気元(三七人参)も足の浮腫み、痛みによかったです。
- ・コロナ感染後の頭の集中力低下に能活精
- ・熱、だるさ、気つけに靈黄参
- ・睡眠の質改善に救心感応丸気

